



研究キーワード: 建築構法, 建築計画

最近の研究課題

1. 伝統構法・集落に関する調査研究

地域の歴史や風土に根ざした「建物のつくり方(=構法)」をテーマに、調査研究を行っています。フィールドワークによって地域に残る民家や集落の実態を調べ、記録を行っています。伝統構法は、建物に要求される機能に対し、利便性、社会的背景、技術レベル、地域資源、生業、などが背景となって、多様な建築的回答が生まれます。それを記録し、応用可能な知見を得ることを目指しています。

「昔の技術」というのは、未発達な遅れた技術と思われがちですが、地域の資源を用いた持続的な建築のお手本とも言え、現代社会の抱える問題の解決に向け、示唆に富んだ存在だと考えています。



2. 歴史的建造物や集落の保存・再生・活用

歴史的な建造物や集落の保存・再生・活用のための調査や、伝統技術の伝承に向けたワークショップの活動等を行っています。



高校生の皆さんへ

四国は、農山漁村、都市、郊外、どこを訪れても非常に個性の強い建築との出会いがあり、飽きません。建築の好きな人はぜひ志望してください。

連絡先: [kamatoko <@> eng.kagawa-u.ac.jp](mailto:kamatoko@eng.kagawa-u.ac.jp) [[<@>](mailto:kamatoko@eng.kagawa-u.ac.jp) は [@](mailto:kamatoko@eng.kagawa-u.ac.jp) に変更してください]